

## 市内地域公共交通に関する検討調査

### 市内循環バス見直し運行計画の策定(2)

# 1. 市内循環バスのルート変更案の設定と概略検証

## (1) ルート変更案の設定

- 第5回地域公共交通会議で、各委員からの意見を踏まえたルート変更案を示す。

<p>通勤時 (P2 参照)</p>	<p><b>【上北台ルート】</b>                  ↳ 第5回地域公共交通会議で提示した案を基本とする。</p> <p><b>【玉川上水ルート】</b>                  ↳ 第5回地域公共交通会議で提示した案を基本とする。</p> <p><b>【武蔵砂川ルート】</b>                  ↳ 第5回地域公共交通会議で提示した案を基本とする。                  ↳ 三ツ藤住宅内を通るルートについては、今後、交通管理者・地元関係者と調整を図る。</p>
<p>日中時 (P3 参照)</p>	<p><b>【上北台ルート】</b>                  ↳ 第5回地域公共交通会議で提示した案を基本とする。                  ↳ 村山団地内を通るルートについては、道路ではなく団地の通路であり、所有者である東京都との調整が必要である。</p> <p><b>【玉川上水ルート】</b>                  ↳ 第5回地域公共交通会議で提示した案を基本とする。</p> <p><b>【東西横断ルート】</b>                  ↳ 玉川上水駅までは乗り入れず、イオンモールまでとする。                  ↳ 三ツ藤経由と伊奈平経由の2系統に分離する。                  ↳ 三ツ藤住宅内を通るルートについては、今後、交通管理者・地元関係者と調整を図る。</p>

## (2) 運行時間の概略検証

- 通勤時については、上北台ルートは15～20分間隔、玉川上水ルートは20分間隔を目標にして現在のサービスレベル以上となるように計画することとする。  
 また、武蔵砂川ルートについては、起終点やイオンモールでの時間調整のあり方などの具体を検討した上で、現在のサービスレベル以上となるように計画することとする。
- 日中時については、現行の運行計画などを基に、運行時間間隔の概略検証を行った。その検証結果を以下に示す。

<p>日中時 (P3 参照)</p>	<p><b>【上北台ルート】</b>                  ↳ 概ね現行ルート（40分間隔）と同じ運行間隔を確保できる見込みである。</p> <p><b>【玉川上水ルート】</b>                  ↳ 概ね現行ルート（50～55分間隔）と同じ運行間隔を確保できる見込みである。</p> <p><b>【東西横断ルート】</b>                  ↳ ルートのうち、2つに経路が分かれていない部分は概ね30分間隔となり大幅に運行頻度を高められる見込みだが、2つに経路が分かれる箇所はそれぞれ60分間隔となり、現行と同程度の水準となる。</p>
------------------------	--

※なお、上記検証は概略のため、駅前広場などにおいて確保している調整時間については、現行のまま試算している。現状として、平日については、大幅に早く終点到着しており、調整時間に余裕があるため、今後は、詳細に計画検討をしていく中で運行事業者と調整を進めて、運行時間間隔のさらなる短縮を図る予定である。



# 市内循環バス路線図 日中時ルート（第5回会議変更案）

- 既存ルート**
- 西循環ルート ●●●●
  - 上北台ルート ●●●●
  - 武蔵砂川ルート ●●●●
  - 玉川上水ルート ●●●●

- バス停留所**
- 新設 ● 既存

バス停間が長いので、ニーズ等を勘案し、必要に応じてバス停を新設する。

※人口の多い三ツ藤住宅地内を通行の方が利便性が高いと考えられるが、居住者用車両を除く車両通行止めとなっており、ルートを設定するには交通管理者・地元関係者との調整が必要となる。

## 東西横断ルート（仮称）

・武蔵砂川ルートと西循環ルートを廃止し、市西部～イオンモールを往復する東西横断ルート（仮称）を新設する。  
・三ツ藤経由と伊奈平経由を設定する。（交互に運行）

伊奈平地域は、ニーズ等を勘案し、必要に応じてバス停を新設する。

・新海道バス停は利用が少なく、大回りとなるためルートを変更し、武蔵村山病院のバス停位置を病院北側に変更する。  
※病院北側の道路はバス停整備（ガードレール、植栽の撤去等）が必要となる

・上北台ルートは、第三中学と上北台駅間のルートを変更する。  
⇒学園東部及び村山団地中央部から上北台駅や市役所、総合体育館等へのアクセスが向上  
⇒上北台ルートから、学園バス停を利用して市民総合センターへのアクセスが可能に  
・かたくりの湯以西は利用が少ないため、一部バスをかたくりの湯で折り返し、利用の多い東側区間の本数を増やす。

## 上北台ルート

村山団地内を通るルートとし、バス停を1～2箇所新設する。

## 玉川上水ルート

・玉川上水ルートは、利便性の低かった循環ルート部分を廃止し、かたくりの湯を起終点として、往復同ルート運行に変更する。



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都版1:500分の1地図図面を使用して作成したものである。  
（単独番号）18都の基交第199号  
1:17,000

※交通管理者との協議等により今後変更となる可能性があります。

## 2. 市内循環バス第5回会議変更案の想定される課題と改善案

### (1) 想定される課題

#### ◆想定される課題◆

- ①一部の地域のサービス水準が向上しない
  - ☞ 日中時のうち、東西横断ルートについて、三ツ藤経由と伊奈平経由の2系統としていることから、どちらの地区も運行頻度が高められない結果となっている。
- ②市西側地域のニーズに応えきれない
  - ☞ 市西側地域の市民は、村山医療センターなど市東部にある施設に乗換なしでアクセスしたいというニーズが高い。
  - ☞ 東西横断ルートをイオンモール止まりとすることで、市西側地域のニーズに応えきれない状況となっている。

### (2) 想定される課題に対する改善案

#### ◆日中時ルート（事務局再変更案）◆ (P5 参照)

- ①村山医療センターまで延伸する。
  - 特にニーズの高い病院アクセスに対応するために、武蔵村山病院や村山医療センターに接続させる。
- ②人口の多い三ツ藤経由のみとする。
  - 2系統に分離することで運行間隔が長くなることを避けるために、人口の多い三ツ藤経由のみとする。
  - 伊奈平地区は、コミュニティタクシー等の代替交通サービスの導入について検討する。

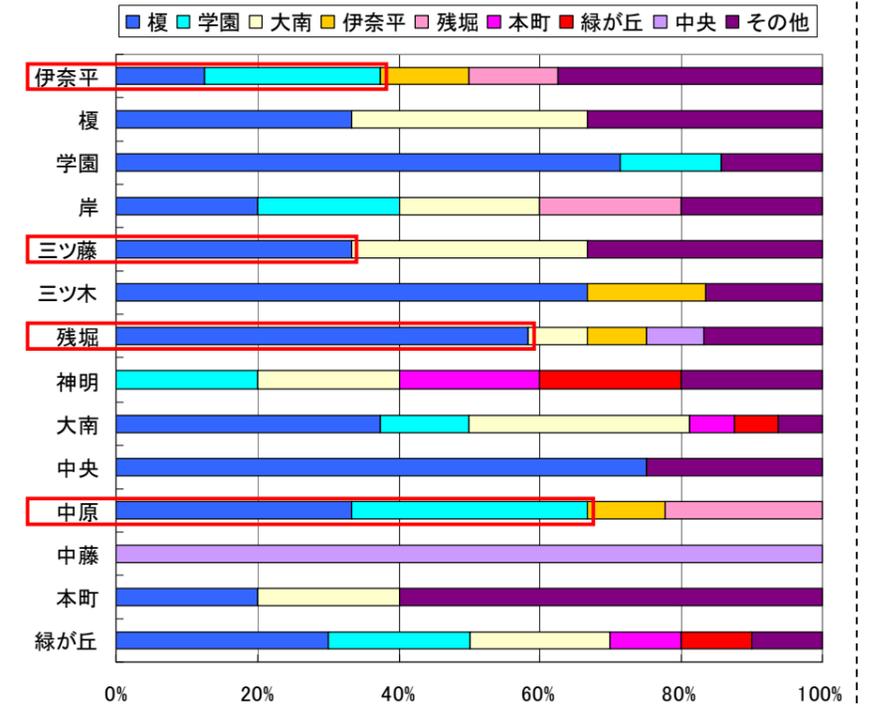
#### ◆改善案提案の背景◆（事務局の考え）

- ①西側地域は現行水準のままでは利用頻度が高められない
  - ☞ 上北台ルートや玉川上水ルートに比べて、西側地域を運行している西循環ルートや武蔵砂川ルートは運行頻度が低いことが利用低迷の大きな要因となっている。
  - ☞ 変更案では、経路を2つに分けてしまうことで、現行と同水準のままになってしまう地域が出てしまい、相変わらず利用しづらい交通手段となってしまう可能性が高い。
- ②コミュニティタクシー等の代替手段の導入によりサービスの向上が可能
  - ☞ 三ツ藤地区の片側運行になったとしても、伊奈平地区にコミュニティタクシー等の代替手段を導入することができれば、双方の地域の公共交通サービス水準の向上を図ることが可能である。
  - ☞ 市内公共交通サービスの空白地帯にコミュニティタクシーなどの代替手段を検討していくことを予定しているが、変更案では伊奈平地区等は空白地帯とはならないので、代替手段導入の対象地域とするのは困難である。

#### 【参考】西側地域の移動ニーズ

##### ①西側地域からの市内の主な通院先は、武蔵村山病院や村山医療センターのある地域

- ・「市内移動手段に関するアンケート調査結果」における「外出用件別に捉えた傾向」について、通院を用件としている人の市内の目的地の割合を示したのが右のグラフである。
- ・西側地域の伊奈平、三ツ藤、残堀、中原などに住んでいる人は、市内の目的地の40～70%が、武蔵村山病院のある「榎」、村山医療センターのある「学園」となっている。



##### ②西側地域から武蔵村山病院と村山医療センターへ市内循環バスで行けるようにしてほしいという要望が、ルート変更後からずっと寄せられている

- ・ルートを変更した平成21年2月以降、市へ電話等で直接意見が寄せられている。
- ・具体のルートに対する要望はそれほど多くない中で、市西部から市内の主要病院へ行けるようにしてほしいという要望が14件にのぼっている。

# 市内循環バス路線図 日中時ルート（事務局再変更案）

- 既存ルート**
- 西循環ルート ●●●●●
  - 上北台ルート ●●●●●
  - 武蔵砂川ルート ●●●●●
  - 玉川上水ルート ●●●●●

- バス停留所**
- 新設 ● 既存

バス停間が長いので、ニーズ等を勘案し、必要に応じてバス停を新設する。

※人口の多い三ツ藤住宅地内を通行の方が利便性が高いと考えられるが、居住者用車両を除く車両通行止めとなっており、ルートを設定するには交通管理者・地元関係者との調整が必要となる。

## 東西横断ルート（仮称）

- 武蔵砂川ルートと西循環ルートを廃止し、市西部～イオンモール、武蔵村山病院・村山医療センターを往復する東西横断ルート（仮称）を新設する。
- ⇒要望の多かった市西部から武蔵村山病院及び村山医療センターへのアクセスや市東部から総合体育館へのアクセスが乗り継ぎなしで可能に
- ⇒利用の多い玉川上水ルートの一部区間の増便も可能に
- ・イオンモール以西においては、三ツ藤経由とする。

- 上北台ルートは、第三中学と上北台駅間のルートを変更する。
- ⇒学園東部及び村山団地中央部から上北台駅や市役所、総合体育館等へのアクセスが向上
- ⇒上北台ルートから、学園バス停を利用して市民総合センターへのアクセスが可能に
- ・かたくりの湯以西は利用が少ないため、一部バスをかたくりの湯で折り返し、利用の多い東側区間の本数を増やす。

## 上北台ルート

村山団地内を通るルートとし、バス停を1～2箇所新設する。

## 玉川上水ルート

- 玉川上水ルートは、利便性の低かった循環ルート部分を廃止し、かたくりの湯を起終点として、往復同ルート運行に変更する。

- 新街道バス停は利用が少なく、大回りとなるためルートを変更し、武蔵村山病院のバス停位置を病院北側に変更する。
- ※病院北側の道路はバス停整備（ガードレール、植栽の撤去等）が必要となる



この地図は、東京府知事の承認を受けて、東京府版図2,500分の1地図図面を使用して作成したものである。  
（準拠番号）14部民安第199号  
1:17,000

※交通管理者との協議等により今後変更となる可能性があります。

### 3. バス停設置の考え方

- ➡ ルート変更に伴い、新たに設置するバス停の考え方は以下の通りとする。

#### ①約 200～400m間隔に設置する

- 地域住民の利便性を考慮し、概ね 200～400mを目安に停留所を設置することとするが、道路条件や建物立地等によって必ずしも満足しない場合もある。

#### ②ルート上に主要な施設があれば可能な限り近接させる

- 病院等の施設がある場合には可能な限り、建物出入口に近接させた位置に設ける。

#### ③既存バス停の位置についても必要に応じて見直す

- 既存バス停の位置は、地域ニーズ等を勘案して、必要に応じて、関係機関等との調整を踏まえながら適切に見直す。